

身体的拘束最小化への取り組み

当院では、患者様の安全と尊厳を大切にし、身体的拘束をできる限り行わないよう取り組んでいます。

やむを得ず身体的拘束が必要となる場合でも、本当に必要かを多職種で検討しできるだけ早く解除できるよう見直しを行っています。

当院の取り組み

- ・身体的拘束最小化に関する研修会の実施
- ・多職種によるカンファレンスの開催
- ・身体的拘束実施時の適正な評価と定期的な見直し
- ・センサーや環境整備など代替手段の検討
- ・患者様・ご家族への十分な説明と情報共有
- ・身体的拘束最小化チームによる継続的な活動

身体的拘束が必要となる場合

やむを得ず身体的拘束を行う場合は、以下の対応を適切に実施しています。

- ・医師・看護師等の多職種で検討する
- ・身体的拘束実施前に代替方法を検討する
- ・実施中は患者様の状態を定期的に観察する
- ・身体的拘束の必要性を定期的に見直す
- ・早期解除に向けてカンファレンスを行う
- ・ご本人・ご家族へ説明を行う
- ・実施内容や経過を記録する

患者様が安心して療養できる環境づくりに努めてまいります。
ご理解とご協力をお願いいたします。

身体的拘束の実施状況（実施割合の推移）

2026年

2月~4月						
0%						